

# 情報データ科学部



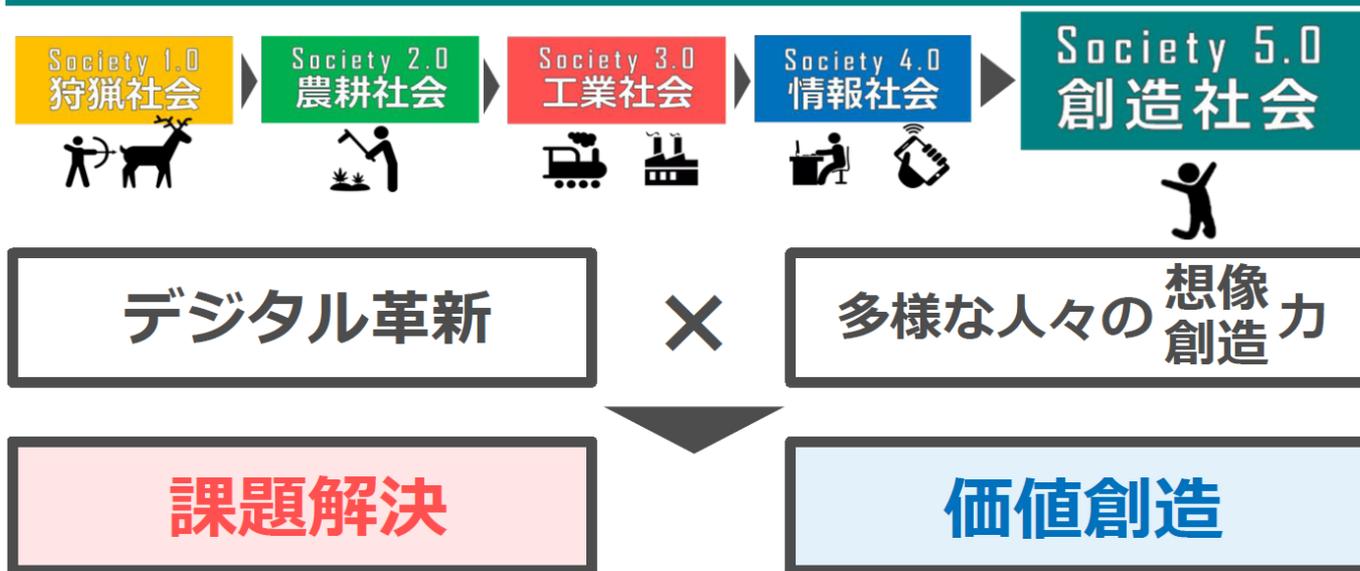
秋田大学  
Akita University

国立大学法人秋田大学

日本政府が目指すSociety 5.0：  
 全ての人々が、快適で活力に満ちた、質の高い生活を送ることができる人間中心の社会

- デジタル革新を人々の多様な生活や幸せの追求のために活用すべき。
- 今後、人々には世の中を変える「想像力」と「創造力」が必要。
- Society 5.0とは創造社会であり、「デジタル革新と多様な人々の想像・創造力の融合によって、社会の課題を解決し、価値を創造する社会」である。

# Society 5.0



出典：（日本経済団体連合会ホームページ）Society 5.0 – ともに創造する未来–  
<https://www.keidanren.or.jp/policy/society5.0.html>

デジタル技術を活用して新たな価値を創造できる“デジタル人材”が必要

DXの推進

# 情報データ科学部

## 情報データ科学科

人間情報系  
知能ロボティクス系  
防災・エネルギー情報系

入学定員100名

産学連携推進機構  
情報統括センター  
AI研究推進センター

各分野  
入学定員80名

### 理工学部

人間情報工学コース  
機械工学コース  
(ロボティクス分野、  
エネルギー情報分野)  
電気電子工学コース  
(生体情報分野)

### 総合環境理工学部 (改組後)

- 応用化学生物学科  
生物学コース  
有機・高分子化学コース  
応用化学コース
- 環境数物科学科  
数理科学・地球環境学コース  
機能デバイス物理コース
- 社会システム工学科  
モビリティコース  
電気システムコース  
社会基盤コース

GXの推進

防災情報系

地域防災減災  
総合研究センター

地域社会コースの一部  
(データ解析分野)  
入学定員20名

### 教育文化学部

- 学校教育課程
- 地域文化学科
- **地域社会コース**
- 国際文化コース
- 心理実践コース

## ●設置の理念について

コンピュータ技術の発展により高度情報社会となったが、Society 5.0のような新たなデジタル社会を構築していくためには、世の中に溢れる様々な情報やデータを収集して分析し、社会課題を解決する新たな価値を創造できる「デジタル人材」が必要とされており、情報データ科学部では、以下のように養成する人材像を定めている。

## ●養成する人材像について

情報学とデータサイエンスを体系的に学び、身に付けた情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して諸課題の解決を図り、新たな価値を創造し実装することができるデジタル人材を養成する。

## ●学部名称・学位の名称について

本学部の教育課程は、「情報学」と「データサイエンス（データ科学）」の両側面に基づく体系的なものであり、これらを活用した応用分野の研究を推進し、社会課題の解決と新たな価値を創造し実装することができるデジタル人材を養成することから、学部名称は「情報データ科学部」、学位は「学士（情報データ科学）」とする。

## ●学科編成について

本学部には、情報データ科学科の1学科を置き、入学後に様々な科目を学び、知識や技能を身に付けていく中で、ITエンジニアやデータサイエンティストなどを目指すのか、あるいは、大学院に進学してより専門性を高めるのかを選択できるようにする。

## ●3つの学びの特色について

### ① 情報学・データサイエンスを体系的に学べる教育課程

情報学・データサイエンスに関する知識や技能を基礎から身に付けるため、入学時から体系的に学ぶことができる教育課程となっている。

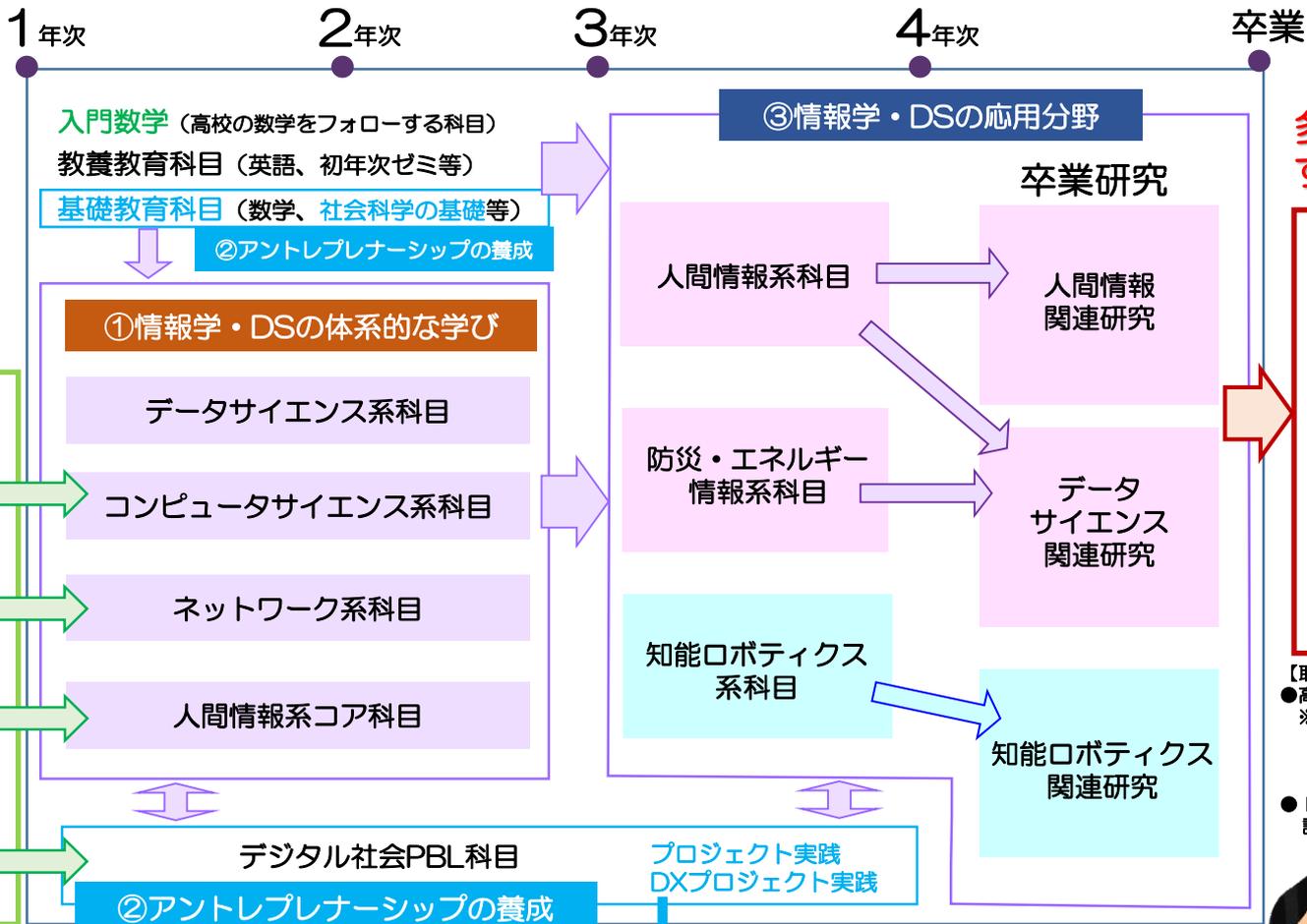
### ② アントレプレナーシップの養成

アントレプレナーシップとは、急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出す精神であり、デジタル社会PBL科目において、実践力を磨く教育を行う。

### ③ 情報学・データサイエンスを応用する科目を設定

本学部では、人を中心とする情報技術に関する「人間情報系」、人間の日常生活における動作支援に関する「知能ロボティクス系」、安全・安心な地域づくりに貢献する「防災・エネルギー情報系」の3つを、応用分野（研究対象）として科目群を設定し、学生の志向に合わせた教育を行う。

本学部は「情報データ科学科」の1学科編成です



主な進路  
多様な分野で活躍するデジタル人材

- 情報系大学院 (R11開設予定)
- ITエンジニア
- データサイエンティスト
- システムエンジニア
- など

【取得できる資格】

- 高等学校教諭第一種免許状 (情報)
- ※申請中 (文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更になる可能性があります)
- ITパスポート試験や基本情報技術者試験などにも挑戦可能

急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出す精神

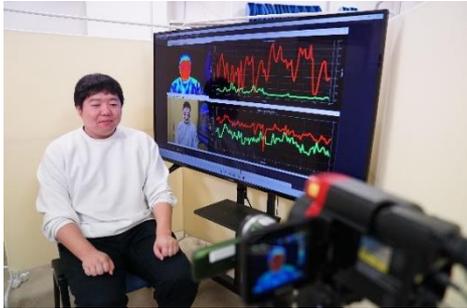
課題解決型授業  
身に付けた情報技術・DSのスキルを活用し、地域社会の企業等と連携しながら課題解決に取り組み、実践力やコミュニケーション力の向上を図る

※DS：データサイエンス



## 人間情報関連研究

情報技術を活用した生体情報のセンシングや、人とコンピュータのインタラクション等に関する情報を収集・生成・解析し、より付加価値の高い情報機器とするためのアプリケーションや、システム開発等を通じて、**人と人のつながりの質を高める情報サービスに関する研究。**



(一例) 画像処理と機械学習による発話内容の識別



(一例) ドライビングシミュレータ

## 知能ロボティクス関連研究

使用者のニーズ等に関するデータに基づき、仕様を満たすロボットをCADで設計して試作し、**AI等を活用したロボットの制御プログラミングにより動作させ、その性能を評価する研究。**



(一例) 高齢者等の歩行能力を訓練する装置

## データサイエンス関連研究

人間の行動履歴や観光における人流、企業等における経営情報、ソーシャルデータ、オープンデータや各種統計データ等、社会における**ビッグデータを収集・解析し、新たな観光振興や地域振興等に資する研究。**



(一例) 生成AIを活用したツアーガイドナビゲーション

地震・気象やエネルギーの流れ等に関する情報を収集し、蓄積したビッグデータ解析等により、複雑な災害事象や地域のエネルギー問題を把握し、これらを活用した**新たな防災対策やエネルギー管理等を行う研究。**



(一例) エネルギーフローを管理するスマートグリッド

## 主に東日本地区の国立大学との応用分野の比較

DS：データサイエンス

応用分野	秋田大学	千葉大学	群馬大学	山形大学	宇都宮大学	一橋大学	滋賀大学
	情報 データ科学部	情報・ DS学部	情報学部	社会共創 デジタル学環※	DS 経営学部	ソーシャル ・DS学部	DS学部
	2025年4月	2024年4月	2020年4月	2025年4月	2024年4月	2023年4月	2017年4月
情報科学	○ (人間情報学)	○ (計算機科学)	○ (計算機科学)				
ロボティクス	○						
防災・エネルギー情報	○						
医療・看護	○ (情報・ロボット)	○ (情報)					
社会科学	○ (経営・観光DS等)		○ (社会科学全般)	○ (経営等)	○ (経営)	○ (社会科学全般)	○ (社会科学全般)
環境・園芸		○					
人文科学			○				

※ DSは、データサイエンスの略。

※ 山形大学は、「学部等連係課程実施基本組織」として設置。

応用分野に特色がある！



学問分野	情報 データ科学部	総合環境 理工学部	教育文化学部	医学部	国際資源学部
情報科学	○				
ロボティクス	○				
生物・化学		○			
数学・物理・材料		○			
モビリティ		○			
電気システム	○ (エネルギー情報)	○ (物理的側面)			
社会基盤	○ (防災情報)	○ (物理的側面)			
社会科学	○ (経営・観光等DS)		○ (地域的)		○ (国際的)
人文科学			○ (地域・国際的)		○ (国際的)
教育学・心理学			○		
医学・保健学				○	
資源学					○

※DS：データサイエンスの略

入試区分		募集人員	出願期間	試験実施日
一般選抜	前期日程 ※	a型（文系・理系）	1月27日～ 2月5日	2月25日
		b型（理系）		
	後期日程（理系） ※			10
特別入試	総合型選抜Ⅰ（文系・理系）		9月24日～ 9月30日	10月12日
	総合型選抜Ⅱ（文系・理系） ※		12月11日～ 12月17日	1月24日
私費外国人留学生入試		若干名	12月18日～ 12月20日	1月24日
国際バカロレア入試		若干名	9月24日～ 9月30日	10月12日

計100名

※ 大学入学共通テストを課す入試。



## 前期日程：2月25日

文系型でも、理系型でも受験できます！  
 赤字：文系型、青字：理系型

大学入学共通テストの必要科目数  
 ●文系：地理歴史・公民2科目／理科1科目  
 ●理系：地理歴史・公民1科目／理科2科目

	試験区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	調査書	合計	
文系 理系 a	大学入学 共通テスト	220	200 100点2科目	200	100 100点1科目	200	50		970	2300
	個別学力 検査等		100 100点1科目							
理系 b	大学入学 共通テスト	110	50 50点1科目	100	100 50点2科目	100	25		485	1800
	個別学力 検査等									

## 後期日程：3月12日

大学入学共通テストの必要科目数  
 ●地理歴史・公民1科目／理科2科目

試験区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計	
大学入学 共通テスト	110	50 50点1科目	500	100 50点2科目	300	50		1110	1410
個別学力 検査等			100				200	300	

※ 大学入学共通テストの「国語」は、「近代以降の文章」のみ（素点は110点）を利用する。  
 ※ 大学入学共通テストの「理科」における「〇〇基礎」の2科目は、理科の1科目としてカウントする。

**総合型選抜Ⅰ：10月12日**

文系・理系で同じ内容で試験をします！

選抜方法	配点	概要
講義レポート	30点	講義を受講した後、その内容に係る課題の解答をレポートにまとめ提出する。
面接	70点	面接（数学分野に関する知識についての試問を含む。）
合計	100点	

**総合型選抜Ⅱ：1月24日**

大学入学共通テストの必要科目数

- 文系：地理歴史・公民2科目／理科1科目
- 理系：地理歴史・公民1科目／理科2科目

試験区分	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計	
大学入学 共通テスト	110	100 50点2科目  50 50点1科目	300	50 50点1科目  100 50点2科目	200	50		810	900
個別学力 検査等							90	90	

※ 大学入学共通テストの「国語」は、「近代以降の文章」のみ（素点は110点）を利用する。

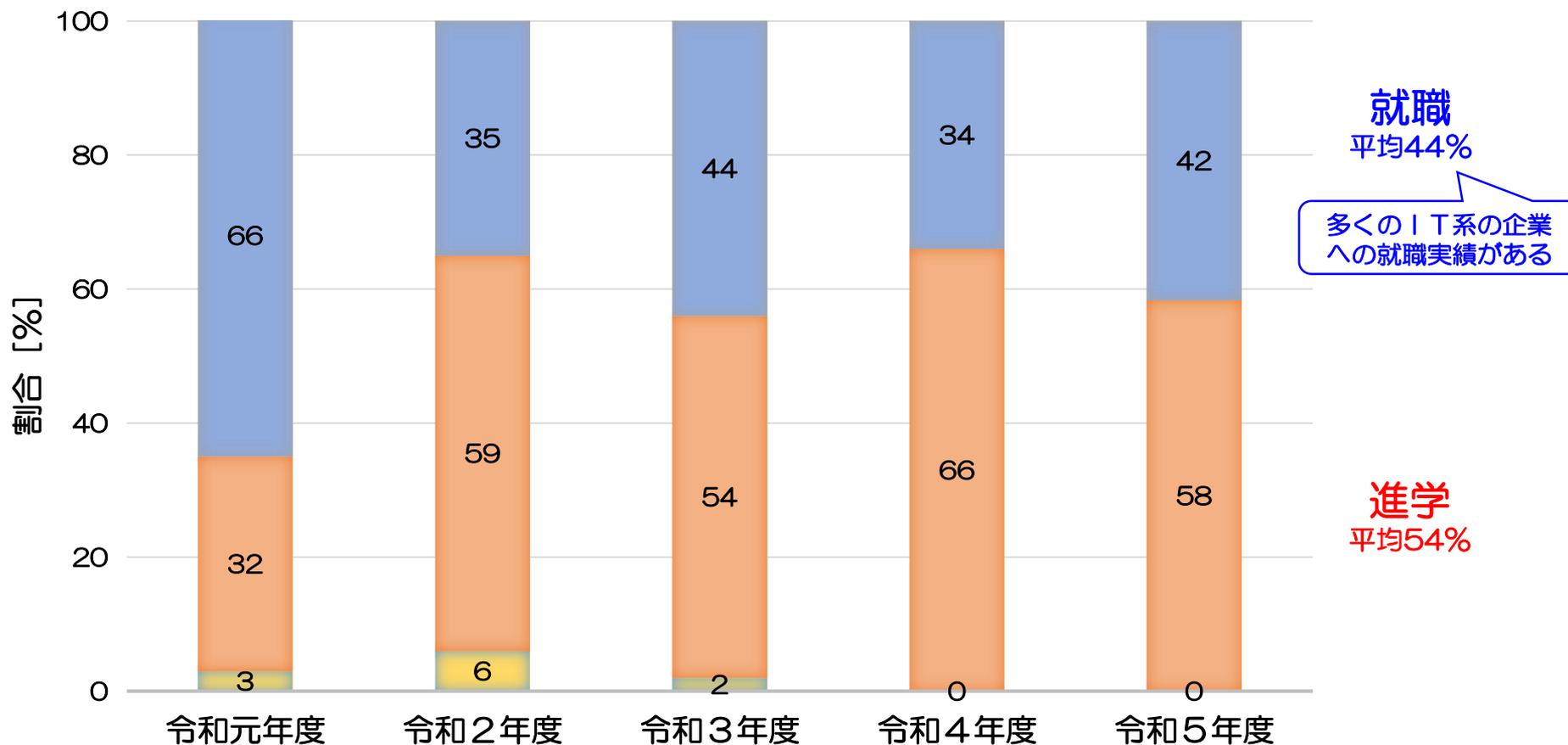
※ 大学入学共通テストの「理科」における「〇〇基礎」の2科目は、理科の1科目としてカウントする。

	大学入学共通テスト 「地理歴史・公民」と「理科」のパターン		個別学力検査等
前期日程	文系 a	I-1, I-2	英語の学力検査 数学の学力検査（数A～C, 数I・II）
	理系 a・b	II-1, II-2	英語の学力検査 数学の学力検査（数A～C, 数I～III）
後期日程	II-1, II-2		数学の学力検査（数A～C, 数I～III） 面接（学力に関する試問を含まない）
総合型選抜II	I-1, I-2, II-1, II-2		面接（学力に関する試問を含まない）

大学入学共通テストの「地理歴史・公民」と「理科」の科目について

パターン	地理 歴史	公民	理科							
			物理 基礎	化学 基礎	生物 基礎	地学 基礎	物理	化学	生物	地学
I-1	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	2		2				-			
I-2	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
	2		-				1			
II-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1		2				1			
II-2	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
	1		-				2			

(参考) 母体となる理工学部人間情報工学コースの状況



※情報データ科学部に設置に関するアンケート結果

県内外企業（2023年11月実施）：毎年採用したい人数625名（調査対象企業1100社）

県内企業（2023年8月実施）：今後10年間で採用したい人数1345人（調査対象企業305社）

※情報系大学院は令和11年度に開設予定。



ご清聴ありがとうございました